平和宣言都市・環境宣言都市
新宿区

第69号
平成17年（2005年）3月27日

しんじゅくの教育

編集・発行／新宿区教育委員会　新宿区歌舞伎町1-4-1　電話3209−1111
http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/

西早稲田中学校・新宿中学校の新校2校がスタートします

4月1日から、戸塚第一中学校と戸山中学校が統合し「西早稲田中学校」が、大久保中学校と東戸山中学校が統合し「新宿中学校」が開校します。

問合せ　教育環境整備課学校適正配置担当　☎（5273）3107

由来
学びの象徴であるペン先を頭部に表した大鳥をイメージしたもの

戸塚第一中学校
戸山中学校

西早稲田中学校
新校舎：戸塚第一中跡地に建設（H20年度開設予定）
仮校舎：戸山中（H17～19）

由来
統合する2校にゆかりのある花「つつじ」と、永遠の生命をもつ「不死鳥」をイメージしたもの

大久保中学校
東戸山中学校

新宿中学校
新校舎：大久保中跡地に建設（H20年度開設予定）
仮校舎：東戸山中（H17～19）

どんな学校ができるの？

新校では、これまで以上に多くの仲間と共に学び、生徒会活動など生徒同士の切磋琢磨を通じて社会性をより育むことができます。また、部活動の数も増え、これまでにも増して活気に満ちあふれた学校となります。

とくに教育内容では、「習熟度別授業の充実」「外国人英語講師の派遣枠の拡大」「理科実験の充実」を積極的に進めていきます。

統合に向けて、お互いをよく知るために、移動教室やスキー教室を統合する2校ずつが合同で実施するなどの交流を進めてきました。運動部の部活動では、一緒に練習したり、ひとつの学校として大会に参加した部もあります。

大久保中と東戸山中合同のスキー教室（2年生）

新校舎の建設にあたって

新校舎は平成19年度末に完成する予定です。建設にあたっては、とくに次の点に留意します。

○今後の教育内容や教育方法の変化に対応できるような多機能学習空間を確保

○校内LANや空調化等、生徒たちの生活・学習空間として快適で豊かな施設の整備

○生涯学習活動やまちづくりの核として幅広い活用ができ、地域に開かれた学校としての整備

戸塚第一中学校と戸山中学校合同の移動教室（1年生）

「さようなら、そしてありがとう」

戸塚第一中学校と大久保中学校は3月5日(土)に、また、東戸山中学校と戸山中学校は3月12日(土)に、閉校記念式典と「思い出を語る会」を各校で開催しました。

各校には、同窓生、保護者、地域の方、歴代の校長、かつて在籍した教職員など多くの方が集まりました。長年の歴史を振り返り、一人ひとりが学校との思い出を胸に刻みました。

教育長就任にあたって

教育長　金子良江

子どもたちを取り巻く教育環境が目まぐるしく変化し、多くの課題を抱えたこの時期に新宿区の教育長を拝命し、昨年12月に着任いたしました。今後は、課せられた重責を全うするために全力を傾注し、新宿の教育の一層の発展に邁進する決意です。

最近読んだ本の一節に「教育とは文化を継承し発展させる営みである」とありました。

教育の基本を象徴するこの言葉の重みを受け止めつつ、学習指導要領の改訂や完全学校週五日制の導入等により学校のあり方そのものが大きな転換点を迎えている今こそ、新宿の教育は、何をなすべきかを真摯に考えなければなりません。

学校教育では、「個に応じたきめ細かな学習指導を徹底し、子どもが自ら学ぶ意欲を育み、基礎学力を磨く」教育の実践に取り組むことを基本としつつ、子どもに「生きる力」を育成することが何より大切です。これに加えて、今後はさらに、「地域に開かれ、地域に支えられ、地域に信頼される学校づくり」を目指すことが必要です。教育委員会は、学校が学校の基本である「確かな学力の向上」に取り組むとともに、家庭、地域と連携し、その総合力で様々な課題を解決する中で「地域コミュニティの核」として機能していくよう、スクール・コーディネーター、スクールスタッフ新宿などの地域人材の活用を進める学校の実践的な教育活動を支援していきます。

さらに、こうした従来の学校の枠組みを超えた教育活動は、地域の様々な人たちと行政が、共に考え、共に行動し、地域の課題を解決していく取り組みにつながります。

より活力に満ちた地域社会を創造するために、これまで地域と学校との連携により成果をあげてきた「こどもの居場所づくり」など様々な地域活動をより主体的で広がりのあるものに強化することにより、私は、一人ひとりの区民も生涯を通じて主体的に学ぶことができる生涯学習社会となるよう努めてまいります。

今後とも、新宿の教育に対する皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

学校適正配置の歩み

教育委員会は、「新宿区立学校適正配置等審議会」の答申（平成4年7月）に基づき、関係者と協議しながら、次代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供するための取り組みを進めています。

平成13年度までに第一次～第四次の適正配置計画を実施してきました。今回の戸塚・大久保地区中学校の適正配置は第五次の計画になります。

今後は、平成19年4月に四谷第三小学校、四谷第四小学校、旧四谷第一小学校の3校を統合し、四谷小学校を開校することが決定しています。

★本紙は新聞（朝日・産経・東京・日本経済・毎日・読売）折り込みで配布しています。そのほか、主な区立施設などに置いています。

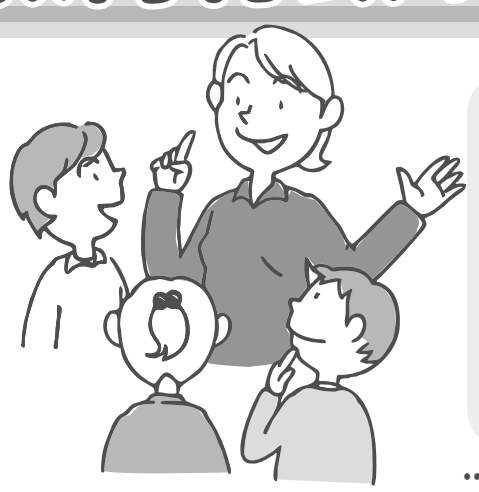
教育行政の推進にあたって

問合せ　教育政策課企画調整係
☎（5273）3074

教育目標と基本方針

新宿区では、「広い視野と思いやりの心をもつ人」「地域の一員として、社会のルールを守る人」「個性や創造力が豊かで自ら学び行動する人」を育てる教育の推進を目標に掲げ、この目標を達成するために年度ごとに定める基本方針（左参照）のもと、総合的に教育施策を推進しています。

各方針における事業の詳細は、教育委員会のホームページでもご覧いただけます。



平成17年度　基本方針

1. 『地域社会や国際社会において信頼される人』を育てる教育の推進
2. 学力の確実な定着を図り、個性や創造力を伸ばす教育の推進
3. 魅力ある教育環境づくりの推進
4. 学校・家庭・地域の教育力の向上と連携強化
5. 生涯にわたって学びつづけられる環境の整備

実施計画の推進

区では、平成17年度からの3年間を期間とする新たな実施計画が始まります。この計画では、急激な少子化が進むなか、「新しい時代を担う子どもの育成」を第一の課題として取り上げています。子どもたちが幅広い知識とともに考える力や豊かな感性を身につけることができるよう、学校・地域の教育環境の充実を図ることや保護者や地域の子育て力・教育力を高めることが必要とされています。

教育委員会の基本方針とも密接に関連する各事業は重点項目として、3年間で確実に推進する計画となっています。

主な事業は以下のとおりです。

学力の確実な定着、個性や創造力を伸ばす

特色ある学校づくり

各学校で中・長期的な視点に立って特色ある学校づくりを進めるため、「特色ある学校づくり教育活動計画」（3か年計画）に基づいた計画的な学習活動を実施します。

少人数学習指導の推進

少人数での学習指導により、教育効果を高め、児童・生徒の学力向上と、個に応じた指導の充実を図ります。

学校・家庭・地域の連携

地域学校協力体制の整備

地域に根ざした教育活動を展開するため、中学校区を単位とする地区（11ブロック）ごとに、必要な人材を「スクールスタッフ新宿」として地域から受け入れ、各学校で活用するしくみをつくります。

地域の教育力との協働・連携の推進

小・中学校の「総合的な学習の時間」の講師を探すなど、学校に地域の教育力を橋渡しする「スクール・コーディネーター」を配置します。さらに放課後や土曜日、日曜日等の学校施設を、子どもの居場所として開放するなど学校・家庭・地域が連携・協働しながら、それぞれの機能を活かし、地域全体で子どもを育てるしくみをつくります。

魅力ある教育環境

学校施設の計画的整備

平成17年4月に開校する「西早稲田中学校」、「新宿中学校」（1面詳報）の新校舎の整備を進めます。

平成19年4月に開校する「四谷小学校」の整備を進めます。

幼稚園と保育園の連携・一元化

就学前の子どもが、保護者の状況等にかかわらず、教育と保育を受けることができる環境をつくるため、幼稚園と保育園の連携・一元化に取組みます。

教育施設の震災対策

区立学校の校舎・屋内運動場の耐震性能の向上を図り、大規模災害時の児童・生徒の安全確保と、第一次避難所としての機能を充実させます。

教育の原点見失わずに

教育委員会委員
内藤　頼誼

学校教育のあり方をめぐる様々な議論が、このところまた熱を帯びています。41か国・地域の15歳児を対象にした経済協力開発機構（OECD）の2003年『学習到達度調査』の結果、日本の読解力得点が低下していることが明らかになったことも、きっかけになりました。中山文部科学相は新年早々から、国語・数学（算数）・理科・社会の4教科の授業時間を確保するため、『ゆとり教育』路線を見直す考えを打ち出しています。また愛国心の涵養など倫理教育を強化する必要を説く声も、政治の場で一層高まっているようです。

義務教育課程での基礎学力の向上と、高い倫理観を持った次世代の育成は、私たちの社会全体の当然の責務です。学校教育の現状をめぐる活発な論議は、様々な批判や注文を含めて、大いに歓迎すべきことであり、国の文教政策にこれらの論議がどう生かされるのか、注意深く見守る必要があるでしょう。

しかし、忘れてならないことは、学校教育が日々の授業・行事を通じてのみ達成される、いわば手作りの作業であり、その場に応じた独創性もまた不可欠だということです。政府の方針によって授業内容がくるくる変わるような不自然さは、やはり避けなければなりません。子どもたちは学校教育を通じて知識を習得するだけでなく、人格を形成していきます。安定した指導方針への信頼感をもし損なえば、回復は容易ではないからです。

幼稚園から小・中学校までの課程で、いちばん大切なことは、子どもたちが『学ぶ』姿勢を身に付けることです。規律正しい生活習慣、きびきびした動作など『しつけ』の領域に属することが、実は学力を伸ばす基盤なのです。あらゆる教育改革も、この原点に立たなければ意味がありません。教職員・保護者の方々には、〝釈迦に説法〟と思いますが、この基盤作りに、日々工夫をこらしてくださることを期待しています。

子どもの安全パトロール

新宿区の防犯マスコット「新宿シンちゃん」

子どもを巻き込んだ犯罪や事件が後を絶ちません。教育委員会では、これまで児童向けに作成してきた啓発冊子『こんなときあなたはどうしますか』に加え、防犯ブザーの配付や、パトロールパネルを使ったパトロールなどをお願いして、子どもの安全対策を図ってきたところです。

昨年12月には、区内各校で「子どもたちの安全確保強化月間」を実施し、学校職員、保護者、地域の方々に通学時間帯のパトロール、子どもへの声かけなどを行っていただきました。期間中は、子どもを巻き込んだ事犯もなく、参加者の間で子どもたちの安全確保について共通理解が得られるなど、大きな成果が報告されました。

一方、大阪府寝屋川市の事件の際には、学校安全管理強化月間を定め、危機管理体制の総点検と受付体制の充実や巡回の強化に取り組みました。また、防犯用の特殊警棒や催涙スプレーなどを各学校に配備しました。

子どもを守るためには、学校の取り組みだけでなく通学路や遊び場など子どもが活動するさまざまな場所で学校・保護者・地域の大人が見守る活動が欠かせません。今後も、地域のみなさんに、身近な場所で無理なく防犯・安全活動に参加していただき、子どもにとって安全で安心なまちとなるよう、ご協力をお願いします。

児童向けに作成した啓発冊子
『こんなときあなたはどうしますか』

問合せ　教育政策課企画調整係
☎（5273）3074

「しんじゅくの教育」編集担当では、皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。また、新聞を購読していない等で郵送をご希望の方はご連絡ください。

LIBRARY 図書館がますます利用しやすくなります

区民の方に、より一層活用していただくために、利用しやすい図書館を目指した取り組みを進めていきます。

図書館運営協議会が図書館サービスについて提言を提出

新宿区立図書館運営協議会（会長・小杉山清）は、図書館利用者代表である公募委員4人を含む14人で構成されています。平成15・16年度は「区立図書館サービスの基本的なあり方について」を全体的なテーマとし、15年度は「図書館の理念・役割・機能に関する基本的な検討項目」について、16年度は「利用者の要望に応える図書館サービスの充実施策」について協議・検討を進めてきました。

図書館のサービスのうち、さらに充実させる必要があるものや改善の余地があるなど14項目のサービスを提言としてとりまとめ、3月8日教育長に提出しました。

区立図書館に対し、充実や拡大を期待する14項目のサービス（提言より）

◆個々の利用者に対するサービス
○児童サービス　○高齢者サービス
○ヤングアダルトサービス
○障害者サービス　○外国人サービス

◆各種の図書館サービス
○レファレンスサービス
○視聴覚サービス　○ＩＴサービス
○ビジネス支援サービス

◆地域・各種団体との提携強化
○学校図書館との連携
○大学図書館との連携
○ボランティア・ＮＰＯとの連携

◆管理・運営等
○開館日及び開館時間の拡大
○管理運営の多様化

区立図書館では、この提言を今後の図書館づくりに活かし、利用者サービスの充実に努めていきます。

なお、これらの提言の全文は、3月29日から区立図書館、区政情報センターで閲覧でき、新宿区のホームページの図書館のページでもご覧いただけます。

図書館の開館時間延長!!

区立図書館では、5月10日（火）より、中央図書館視聴覚室と鶴巻・西落合・戸山・北新宿・中町・角筈・大久保の7地区館（四谷図書館を除く）における火曜日から金曜日までの開館時間を1時間延長します。仕事帰りにも利用しやすくなった区立図書館に、どうぞお越しください。

区立図書館の開館時間（5月10日～）

中央図書館（児童室・視聴覚室を除く）、四谷図書館	火～土曜日	10時～20時
	日曜日	10時～18時
中央図書館児童室	火～日曜日	10時～18時
鶴巻・西落合・戸山・北新宿・中町・角筈・大久保　各図書館、中央図書館視聴覚室	火～金曜日	10時～18時 ▼ 10時～19時 （1時間延長）
	土・日曜日	10時～18時

※月曜日は休館
※　　が今回の変更部分

目白大学の図書館が利用できます！

目白大学と新宿区教育委員会は、大学図書館の区民利用と区立図書館の郷土資料や地域資料・行政資料等の貸出しについて、相互協力することで合意し、1月31日に覚書に調印しました。

目白大学新宿図書館は約15万冊の蔵書があり、特に英米文学や心理学に関する資料が充実しています。4月15日から申し込みをされた区民の方が目白大学新宿図書館をご利用できるようになります。利用方法は次のとおりです。

【対象】　20歳以上の社会人区民で、区立図書館の利用登録済の方（区外の方や在勤・在学の方はご利用になれません）。
特定の研究テーマか、調査研究項目をお持ちの方

【利用内容】　大学図書館での閲覧
貸出し（貸出しできない資料もあり）
所蔵資料利用のためのレファレンス
コンピュータによる資料検索
コピーサービス（有料）

【利用料】3、000円（年間利用登録料を目白大学に納入。登録日から1年間有効）。なお、一旦納入された登録料は返還されません。

【申込み】顔写真と住所・年齢等を証明する書類を添えて、中央図書館もしくは西落合図書館まで。

目白大学学長（左）と教育長

問合せ　中央図書館　☎（3364）1421

イキイキ家族、わくわく地域

―― 地域家庭教育推進事業 ――

今年度から始まった地域家庭教育推進事業では、『家庭教育の新しい形づくり』を目指して取り組んできました。これまで参加の難しかった保護者の皆さんも参加できるように、5つのテーマを設定し、「新宿区地域家庭教育推進協議会」が中心となって、53講座を開催しました。

協議会は、様々な分野のスペシャリストである地域団体が集まっているため、「親子で一冊・手づくり絵本」「ダンボールで砦を作り遊ぶ　戸山が原の合戦」「親子で楽しむ落語」「親力パワーアップ・セミナー」など、多彩な講座が展開できました。また、開催日時・内容・対象者の設定などの工夫で、「こういう講座に初めて参加する」という保護者も多かったようです。

協議会を中心に、新宿子どもセンターや小学校ＰＴＡ連合会、戸山遊び場・子ども劇場などの地域団体、また公募団体や多数のボランティアが協力し合って、充実した事業を実施することができました。

今号は、2月に行った2講座をご紹介します。

平成16年度　地域家庭教育推進事業のテーマ
1. 親子で遊ぼう
2. 安全安心のまちづくりは地域から
3. 親力パワーアップ・セミナー
4. 在住外国人と日本人の子育てセミナー
5. お父さんと遊ぼう

ワールドわくわくしゃべり場

～「在住外国人と日本人の子育てセミナー」より

外国人保護者向けに、昨年7月から行ってきた家庭教育のセミナーの集大成として2月19日に大久保小学校で「ワールドわくわくしゃべり場」を開催しました。

気軽なおしゃべりをしながら、子育てについて共に考え発表するもので、7カ国（5言語）の外国人と日本人約40人が集まりました。

第1部では「多言語でおしゃべりできる場」「親子で遊べる場所」などについて、抱えている悩みや思いなどを語り合いました。第2部の意見発表では、「外国人のママ友だちを作る」「学校や地域の行事に参加する」など『自分たちでできること』と、「安心して遊べる公園づくり」「各国の親子が遊べるイベントの開催」など『行政等の協力が必要なこと』に分けた提案がありました。次回開催の要望もあり、同じ地域で子育てをする保護者が語り合える貴重な機会となりました。

同時に、保護者が話し合いをしている間、学生ボランティアの協力で、16人の子どもたちが「世界の遊びの広場」を楽しむ「子どもの居場所づくり」も行いました。

ファミリー・アウトドア・プログラム

～「親子で遊ぼう」より

2月11日～12日に「ファミリー・アウトドア・プログラム」を実施しました。甲斐大和の国を舞台に、25組の親子が野外料理体験やクラフトワークなどを行いました。

火起こし体験では、張り切る父親パワーに子どもたちが圧倒されたり、雪山散策では、元気いっぱいに活動する子どもを親が見直すなど、親子が協力して様々な体験を楽しんでいました。「非日常での体験を通して、親子の間で再発見がありました」という感想にもあるように、家族のすばらしさを再確認する1日になったようです。

子育ては、家庭・地域・学校がそれぞれ協力しあいながら行っていくことで、大きな成果をあげることができると考えています。

この事業は17年度にも実施を予定しています。区広報やチラシなどでご案内しますので、多くの保護者のご参加をお待ちしています。

問合せ　生涯学習振興課地域教育係　☎（5273）3147

また、新聞を購読していない等で要望をご希望の方にご連絡ください
問合せ　教育政策課企画調整係　☎（5273）3074

歴史・学習・スポーツのことならレガス新宿へ

「レガス新宿」は、（財）新宿区生涯学習財団の愛称で、歴史のレ、学習のガ、スポーツのスに由来しています。
レガス新宿は、スポーツ施設・歴史博物館・社会教育会館の運営、各種講座・イベントの開催、指導者の紹介など生涯学習情報の提供を通して、生涯学習活動を支援しています。

問合せ　（財）新宿区生涯学習財団（レガス新宿）大久保3－1－2　☎（3232）7701

新しい自分 探しを応援します！ 生涯学習情報紙「Oh！レガス新宿ニュース」

生涯学習情報紙「Oh!レガス新宿ニュース」には、あなたの探している楽しいイベント・講座情報が満載！　この春、新しい何かに挑戦してみませんか?

【発行日】毎月5日

【配布】区内の各世帯に新聞折込のほか、図書館など各公共施設で配付。郵送での定期購読も随時受付中（郵送費はご負担いただきます）。

レガス最新情報

★4月から始まる年間企画!

「子ども冒険くらぶ」

友だちとアウトドアで遊ぶ通年プログラム。夏休みは大島にキャンプにいきます。

「のびのびクラブ」

太りすぎ・運動嫌いを楽しく克服するスポーツトライアル、宿泊教室や栄養相談など多彩なプログラムです。

★5月から始まる期間限定企画!

「CAP&コーチング講座」、「すくすくベビーマッサージ」、「親子陶芸教室」、「やさしく楽しい算数図形」など、親子で楽しめる講座が並びます。

問合せ　生涯学習財団事業課　☎（3232）7701（「Oh!レガス」4／5号参照）

新宿歴史博物館からのお知らせ

★所蔵資料展

「江戸のデザイン～考古資料が語る文様・モチーフの意味と魅力」

区内遺跡から出土した江戸時代の資料に描かれている文様にスポットをあて、現代まで通じる 江戸のデザイン を読み解きます。

【会期・休館】

3月1日（土）～5月29日（日）

月曜休館（祝日の場合は翌日）

【料金】無料（常設展は有料）

染付雲龍文大皿（内藤町遺跡）

★新宿歴史博物館の開館時間を変更します

夕方の時間帯も、ゆっくりと展示鑑賞をしていただけるように、4月1日から開館時間を30分繰り下げます。皆様のご来館をお待ちしております。

【現行の開館時間】	▶	【4月1日からの開館時間】
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）		午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時まで）

問合せ　新宿歴史博物館（三栄町22）　☎（3359）2131

平成16年度　第2回　幼児・児童・生徒表彰

教育委員会では、平成17年3月16日に第2回「幼児・児童・生徒表彰」を行い、表彰状と盾を授与し、その栄誉をたたえました。

★個人

中川（なかがわ）ちひろさん（花園小学校3年）：第35回世界児童画展 文部科学大臣奨励賞

水上（みずかみ）　由貴（ゆき）さん（花園小学校3年）：第35回世界児童画展 日本美術教育連合賞

相子（あいこ）　千明（ちあき）さん（花園小学校2年）：第35回世界児童画展 全国造形教育連盟賞

脇本（わきもと）　宏紀（ひろき）さん（西戸山小学校6年）：第9回新宿区小学生水泳記録会 優勝・大会新記録、朝日小学生新聞「朝小リポーター」としての活躍

佐藤（さとう）　佳美（よしみ）さん・永井（ながい）　麻理奈（まりな）さん（落合第二中学校3年）：ボランティア活動の功績（アヒルの飼育活動を3年間継続）

近藤（こんどう）　眞実（まみ）さん（落合第二中学校3年）：全国納税貯蓄組合連合会　第38回「中学生の税についての作文」　東京国税局長賞

平成16年度　新宿区読書感想文区長表彰

新宿区立小・中学校全校の作品の中から区長賞4点が選ばれ、12月15日に表彰式が行われました。

全作品を掲載した「読書感想文集けやき第20号」は、区立の図書館・児童館・学校図書館で閲覧することができます。

★区長賞

堀内（ほりうち）慶一郎（けいいちろう）さん（四谷第六小学校1年）「『土のふえ』をよんで」

山田（やまだ）　美月（みづき）さん（余丁町小学校3年）　「『えっちゃんのせんそう』を読んで」

廣中（ひろなか）　栄介（えいすけ）さん（落合第一小学校5年）「『海で見つけたこと』を読んで」

河本（こうもと）　慧（けい）さん（西新宿中学校2年）　「顔の向こうに―『フェイス』を読んで」

新宿区教育委員会の動き

◆教育委員会について

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した5名の委員で構成する合議制の執行機関です。

会議は、毎月1回第1金曜日（都合により変更あり）に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催して、教育行政の基本的施策の決定や議案の審議をするほか、諸事項について事務局から報告を受けています。

今号では、平成17年1月7日から3月4日までに行われた教育委員会の主な議決事項等をお知らせいたします。

■議　　案

○新宿区立学校設置条例の一部を改正する条例について

○新宿区立新宿歴史博物館条例施行規則の一部を改正する規則

○公の施設の指定管理者の指定について

○教育行政の推進にあたって

○教育財産の用途変更について

■報告事項

○第四次実施計画及び第二次行財政改革計画について

○新宿区幼保連携・一元化の進捗状況について

○目白大学図書館と新宿区立図書館の相互協力について

○平成17年度学校緑化推進対象校の選定について

教育委員会はどなたでも傍聴できます

会議の日程、場所、開始時刻、議案等については、教育委員会掲示板に掲示しています。または、下記までお問合せください。

傍聴を希望される方は、開始時刻の10分前までに会議場へお越しください。その場で傍聴券をお渡しします。ただし、お酒を飲んでいる等傍聴をするのに不適当と認められるときや会議場の都合で多くの方が入場できないときには、傍聴をお断りする場合があります。

また、議案等の内容が個人情報に関係するなど会議を公開することが不適当と教育委員会が決定した場合は、非公開とすることもありますので、あらかじめご了承ください。

問合せ　教育政策課管理係　☎（5273）3070

●新宿区は、身近な環境に配慮した、地球にやさしいまちづくりを推進しています。「しんじゅくの教育」は、森林資源の保護とリサイクル促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています